

住蓮山安樂寺は鹿谷にあり。本尊は阿弥陀仏の坐像にして恵心の作なり、脇士は観音勢至を安置す、共に運慶の作なりとぞ。当寺は法然上人如法念仏を修し給ふ地なり、徒弟住蓮安樂の二僧に附属し給ふ。然るに後鳥羽院の愛妃松虫鈴虫の二婦、一向専修の勸に入、忍んで此庵室に來り尼と成、上皇大に逆鱗あつて二人の僧を刑し、法然上人を四国に左遷す。其後年経て念仏弘法の旧跡なれば寺となし、住蓮安樂の二師を開山とす。